

新風

発行 神石高原町議会議員

木野山孝志 後援会

平成29年04月10日 NO.43

発行責任者：橋迫芳隆

神石高原町父木野2953-1

ホームページ <http://www.7a.biglobe.ne.jp/~t-kinoyama/>

平成29年度 当初予算

一般会計3年連続の増額

97億7000万円

UIN(神)プレミアム事業等
挑戦のまちとして掲げる
8事業などに新規投資

平成29年度当初予算の、一般会計・特別会計・病院事業会計の合計額は144億2301万円で前年度対比2億7314万円の増額予算(1.9%増)となっています。内訳は表のとおりです。

一般会計は97億7千万

円で前年度比2億円増

(2.1%増)で、投資的

経費であるいずみ保育所

建設費・町道維持費などの

単独事業費や、公共交通助

成など補助費等が伸びて

います。

自主財源は22億242

3万円、収入総額の22・

8%で14%の増となりま

した。寄付金や繰入金の増

を見込んでいます。

依存財源のなかでは地

方交付税という国から頂

くお金が49億6千万円で

総額の50・8%を占めて

いますが昨年対比1億円の減を見込んでいます。借金

の返済額は14億72万

円で借入金予定額の1・

25倍の額となっています。

平成29年度末の基金

(積立金)総残高は124

億9800万円で26年度

末より3743万円の増

を予定しています。また、

28年度末の地方債(借金)

残高の総額は127億3

760万円となり6億5

300万円の減額となる

予定です。

なお、平成26年度末の

町民一人あたりの借金残

高は133万7千円とな

りますが、交付税措置など

借金の性質を考慮すると

積立金総額のほうが借金

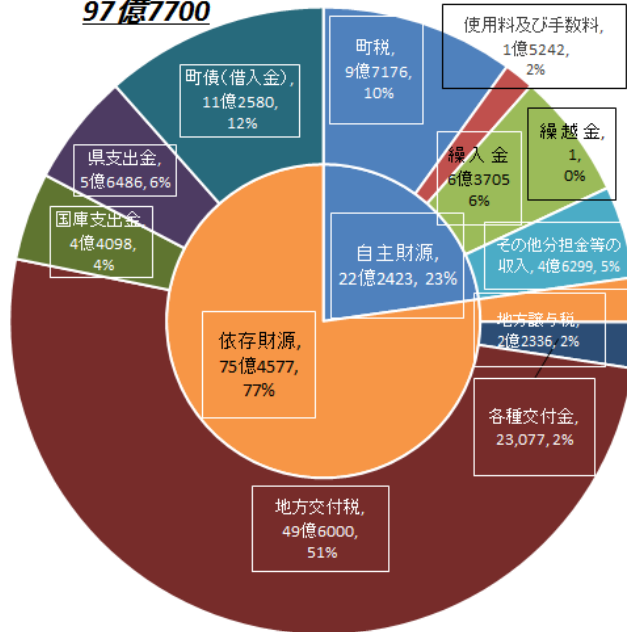
総額より多くなります。

平成29年度特別会計・病院事業会計当初予算

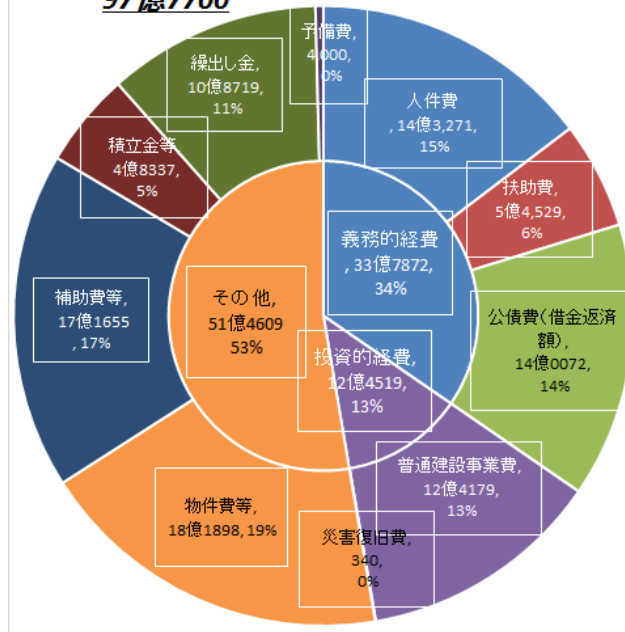
単位: 万円(四捨五入)

| 会 計 名 | | H29年度 当初予算額 |
|------------------|-----------------|----------------|
| 特 別 会 計 | 国 民 健 康 保 険 | 12億5380 |
| | 後 期 高 齢 者 医 療 | 3億7480 |
| | 介 護 保 険 | 18億5510 |
| | 簡 易 水 道 事 業 | 4億8870 |
| | 飲 料 水 供 設 事 業 | 3620 |
| | 農 業 集 落 排 水 事 業 | 2億4080 |
| | 分 収 育 林 事 業 | 10 |
| | 特別会計計 | 42億4950 |
| 病院事業会計 | | 4億0351 |
| 特別会計+病院事業会計 | | 46億5301 |

「歳入」 平成29年度当初予算 97億7700



「歳出」 平成29年度当初予算 97億7700



新規・拡充事業の主なもの

| | |
|-----------------|----------|
| ★超高付加価値農業振興事業 | 1100万円 |
| ★チャレンジファンド運営事業 | 302万円 |
| ★地域活性化チャレンジ事業 | 392万円 |
| ★生活交通機関確保事業 | 1億1244万円 |
| ★小・中・高校支援事業 | 5092万円 |
| ★英語教育推進事業 | 502万円 |
| ◎トマト栽培実践研修施設整備 | 3500万円 |
| ◎里守り大育成事業 | 426万円 |
| ◎林業再構築プロジェクト事業 | 5638万円 |
| ○新規就農者支援事業 | 4715万円 |
| ○保育所施設整備（いすみ）事業 | 3億4000万円 |
| ◎協働支援センター施設管理 | 2223万円 |
| ◎犯罪被害者支援事業 | 40万円 |
| ◎町立病院建設プロジェクト | 57万円 |
| ◎庁舎建設事業 | 36万円 |
| ◎ロタウイルスワクチン接種 | 150万円 |
| ★JIN（神）プレミアム | |
| ◎新規事業 | |
| ○拡充事業 | |

平成29年3月一般会計補正予算（H28年度3月分）

| | | | （単位：万円）四捨五入 |
|-------|--------|----------|--|
| 費目 | 補正予算 | 補正後予算 | 主な内容 |
| 議会費 | | 8555 | |
| 総務費 | 8062 | 20億6058 | かがやきネット（電柱工事）437、源流の里維持再生▲1,385、財務会計▲271、公用車▲564、旧豊松中解体▲1,527、定住対策▲989、ふるさと納税追加交付13,965、選挙経費▲1,034 |
| 民生費 | -▲3298 | 18億7016 | 国保会計繰出1,399、障害者給付200、生活保護356、介護保険会計繰出▲1,196、後期高齢者会計繰出▲2,488、児童手当等給付▲924 |
| 衛生費 | -▲711 | 12億3552 | 医療従事者貸付金▲610、総合健診▲709、病院政策医療交付7,000、病院事業会計補助▲1,876、クレンセンターじんせき▲703、簡易水道会計繰出▲3,253 |
| 農林水産費 | -▲3952 | 13億1479 | 有害鳥獣奨励金367、トマト組合513、多面的機能支払い▲397、トマト選果場整備▲1,970、ひろしま農業創生▲523 |
| 商工費 | -▲2075 | 1億4737 | 雇用促進奨励助成▲760、豊松仁吾川ドレージ改修工事▲1,281 |
| 土木費 | -▲3412 | 6億6359 | 長寿命化（橋梁・トンネル）対策▲880、国道道整備▲100、町道時安線・高蓋上下線▲1,421、単独町道整備▲1,010 |
| 消防費 | -▲1550 | 4億7015 | 常備消防▲1,253、非常備消防▲150、消防設備▲127 |
| 教育費 | -▲343 | 7億8096 | 中学校寄宿舎居住経費▲100、町立体育館改修▲145 |
| 災害復旧費 | -▲1124 | 4021 | 現年発生道路橋りょう▲570、現年発生道路橋梁災害復旧▲554 |
| 公債費 | -▲2260 | 15億7517 | 長期債元金償還▲1,175、長期債利子償還▲718、一時借入金利子▲366 |
| 諸支出金 | 3億1392 | 19億0711 | 財政調整基金積立3億569、減債基金積立186 |
| 予備費 | | 4000 | |
| 合 計 | 2億0729 | 121億9116 | |

平成29年
なにが
どうなる

★JIN（神）プレミアムとは

○神石高原町内の人・もの・自然など全体の価値・イメージをもうひとつ高めること。

平成28年度特別会計病院事業会計補正予算

単位：万円（四捨五入）

| 会 計 名 | | H28年度 | |
|------------------|-----------------|--------------|-----------------|
| | | 29. 3月 補正 | 29. 3月 補正後予算 |
| 特 別 会 計 | 国 民 健 康 保 険 | -▲3092 | 12億6475 |
| | 後 期 高 齢 者 医 療 | -▲2487 | 3億6365 |
| | 介 護 保 険 | -▲7862 | 18億7011 |
| | 簡 易 水 道 事 業 | -▲8243 | 3億1810 |
| | 飲 料 水 供 設 事 業 | 27 | 3969 |
| | 農 業 集 落 排 水 事 業 | | 2億5516 |
| | 分 収 育 林 事 業 | | 10 |
| | 総 合 開 発 事 | | 713 |
| | 特別会計計 | -▲2億1657 | 41億1869 |
| 病院事業会計 | | 5424 | 4億4926 |
| 合 計 | | 4495 | 167億5911 |
| 特別会計+病院事業会計 | | -▲1億6233 | 45億6795 |

平成28年度補正予算 平成29年3月

ふるさと納税追加交付金に

1億3965万円

平成28年度3月補正の主なものは、ふるさと納税寄付金確定による追加交付金1億3965万円、政策医療交付金の追加補正7000万円、財政調整基金積立に3億569万円などが主なもので、他はほとんどが清算による減額補正です。

条例制定・改正の主なもの

○犯罪被害者支援条例制定

＊見舞金の支給

○総合開発基金条例の廃止

→

○特別会計条例の一部改正

＊総合開発特別会計の閉鎖

○がんばるふるさと条例一部改正

＊事業の区分に地区協働支援センターを加える

○簡易水道設置条例の一部改正

＊町内の簡易水道の経営を統合し補助金の交付を確保

○行政組織条例の一部改正

＊「政策企画課」の設置

＊「学校教育課」「生涯学習課」を統合し「教育課」に。

(緊急的課題である庁舎・病院の建設を推進するため「政策企画課」を新設。また地区公民館業務を地区協働支援センター業務とし、伴いまちづくり推進課に「生涯学習係」を新設した。)

○他に、町税条例、手数料条例、非常勤特別職報酬条例、指定管理など改正がありました。

当初予算質問

「地方公会計制度」の導入

木野山 470万円の事業費に交付税措置はないのか。

全額委託料だが職員対応は。

瀬尾総務課長 台帳記帳業務書類作成業務に特別交付税措置。職員も連携してさぎょうにあたっている。

「信頼される病院」の構築

木野山 病院の赤字原因は人口減少・高齢化だけではなく信頼される病院かどうかだ。対策は。

赤木保健課長 良質で安全な切れ目のない、期待にこたえる医療提供に日々努める。

「有害鳥獣対策」の充実

木野山 報奨制度の拡充とジビエ料理提供制度の確立で捕獲者の意欲を高めたらどうか。また追い払いにドローンの活用は。

瀬尾産業課長 成果の糧となるテコ入れは検討したい。頭数制限が目的でバランスも考慮し検討する。

ドローンの活用は、猟友会と一緒に検討していく。

「英語教育推進事業」は

木野山 各学校へ配分する英語教材の活用方法は。

石田学校教育課長 各校長に任せ取り組みたい。

教育長 小5・6年生は外国語活動で、1・4年生はALTによる活用を行う。中学校では英語の教科内で活用する。

木野山 中学校での英語クラブはどうか。

教育長 部活は今でも精一杯なので難しいかも。

「ふるさと回帰奨励事業」とは

木野山 インバウンドを見据えた着地型観光調査事業とは。内容を。

また専門家とは。

町長 専門家とは徳島県で民

補正予算質問

「政策医療交付金」は

木野山 政策医療交付金は確定した段階で精算のために追加補正を組むものだ。この度は見積金額いわゆる摘み追加補正している。なぜ今回の3月なのか。また27年度から総額で2億円を超えている。原因は。

保健課長 追加補正額7千万円について指定管理者から12月の実績見込みで3月までで7028万5千円と聞いている。9月補正で精算する。

急激に増えた原因は入院患者の減、27年度の介護保険の改正が原因と思う。

「水道工事進捗状況」を伺う。

木野山 簡易水道事業は補助金額が減り減額補正となった。

油木市場・安田地区の完成予定は。

環境衛生課長 油木市場が平成30年まで。安田は平成29年度完成予定です。



三和公民館まつり

一般質問

UIN(神)プレミアム事業は、外部依存事業が多い。その理由と今後の見通しを伺う。

182ステーションに、コーディネート者を配置し検討する

町長 道の駅店舗リニューアル、まるごと市場の在り方、第3セクターの統合事務といった3つの構想を外部委託する。コーディネートについて、幅広いネットワークを持つ人材をさんわ182ステーションに配置する。

チャレンジファンド、超高付加価値農業等様々な事業の外部委託を検討中。専門性や事務量、費用対効果、事業期間等総合的に判断し好ましいものは外注する方向で検討中だ。

まるごと市場は売上が1億8千万円で5100万円の経費が掛かっており25%の粗利ではペイしない。廃止しても産物の出荷先を確保すれば

は各地区協働支援センターと協議し進める。
人的支援では協働支援センターでの雇用には財政支援を検討するが、以上の職員の対応は考えていない。

木野山 協働支援センターでの一括交付金の基金造成は全て目的基金とされている。町の財政調整積立基金のように何割かを柔軟性を持たせ、自由に使用させては。

町長 中身を見て検討したい。

まちづくり推進課長 何割を自由裁量とするか、交付金なので議会説明も可能な形にしたい。
センターと協議し進めたい。

木野山 協働支援センターでの先駆的な取組みに対する補助金交付は、補正予算対応と理解するがOKか。

まちづくり推進課長 協議の中で必要とならば補正対応し

たい。
公民館活動の協働支援センター業務への移行は何を目指すのか

木野山 公民館事業は、地域の伝統文化事業の要である。教育委員会部局で実施されるからこそ文化の香りがする。地区公民館事業の協働支援センターへの移行の効果により何をを目指すか。

生涯学習課長 協働支援センターへ移行して生涯学習事業を行っていく地区公民館もあり

りますが、そういう中で皆で地域の伝統文化の行事を社会教育の枠を越えて生涯学習事業の中の取組みとしてやっていく事が本当に地域に根差した文化活動だと考えている。

木野山 社会教育法からあまり逸脱をしない方向で地区の事業が活発化すれば良いと思う。

我々の中山間の文化は、グローバルとか市場経済とかに関わらない日本独特の文化を持っている。このことを大事にすることを忘れないで、一緒にやって頂きたい。



三和協働支援センター 円卓会議